



特別委員会現地調査の様子（スパシラランド大吊り橋）

〔質疑〕スパシラランド大吊り橋補修工事として木床版の取り替えを行うとのことだが、木製の床版を別な材質に変えないと毎年補修を繰り返す事になると思うが、何か対策は考えているのか。

〔答弁〕スパシラランド大吊り橋は、床版が木製であるため、当初から加圧注入による防腐処理をしている。

しかし、天然木材であるため、その耐久性については一律にいかないというのが現状である。

今後、他の部分についても腐朽が発生するということは想定している。

安全性を保つ上でも、今後目視点検を定期的に行い、早期の対応を図るとともに、専門業者による点検等も含め、どうすれば長寿命化が図れるか検討していきたい。

教育民生所管

〔質疑〕小中学校コンピュータ導入事業として、先生方1人に1台を貸与するとともに、その他にも施設整備されると聞いているが、整備の概要はどうなっているのか。

〔答弁〕現在、小・中学校には234名の教職員があり、全員にノート型パソコンを貸与することとなる。文書作成ソフトとして、一太郎、ワード、エクセル等の導入、校務に要する事務負担の軽減ということで、名簿管理や出欠情報管理を行える校務支援ソフトの導入を考えている。

また、タブレット端末は活用の検証を行うために40台を準備し、全学校に貸し出す

ることを考えている。

なお、普通教室及び特別教室においては無線LANの整備を行い、職員室は有線LANを整備することとなる。

〔質疑〕先生方全員にノート型パソコンを貸与して活用を図られるのは、大変結構なことだが、大切な情報をしっかりと管理するためにどのような対策をとっていくのか。

〔答弁〕セキュリティ対策としては、暗証入力が必要で、個人のパソコンにはデータを保存できないUSBを導入し、セキュリティ対策を強化していきたい。

また、教職員が職員室のパソコンで校務支援ソフトを使用し成績管理をするが、パソコンで更新するのではなく、サーバーの中で更新するというセキュリティ対策を行っていくことにしている。

〔質疑〕文化財保護費に印刷製本費として63万円計上されているが具体的にどのようなものなのか。

〔答弁〕文化財調査報告書、片倉小十郎景綱報告書」という

報告書を現在作成中である。

この作成にあたっては、文化庁の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業補助金を受け、白石市歴史文化を活用した地域活性化実行委員会の補助事業として印刷する。それを、一般の方々にも提供するため、増刷費用として今回計上したものである。

〔質疑〕今回の補正予算に計上された消防施設の修繕料はどこ施設の修繕なのか。

〔答弁〕越河清水と丑山下の防火貯水槽修繕、越河五賀山田、白川津田赤丸の防火水槽のフェンス修繕、福岡分団沖班のポンプ小屋シャッターの修繕である。

総務財政所管

〔質疑〕企画費に白石市PRキャラクター着ぐるみ製作委託料が計上されている。現在「ポチ武者こじゅーろう」の着ぐるみがあるが、今回新たに別なキャラクターを作るのか、また同様のものを作るのか。

〔答弁〕「ポチ武者こじゅーろう」は、本年5月に正式に市のPRキャラクターとして認定したことに加え、本年4月から6月に仙台・宮城デスティネーションキャンペーンが開催されたことも相まって、使用頻度が高まったために、現在使用している着ぐるみに傷みが生じたことから、「ポチ武者こじゅーろう」を新たにもう1体製作しようとするものである。



ポチ武者こじゅーろうと白石城